

千葉県小児等在宅医療連携拠点事業等の実施結果について（令和元年度）

1 小児等訪問看護師育成研修事業

(1) 目的

医療的ケアが必要な小児が地域で安心して在宅療養ができるように訪問看護等を行う看護師等を育成することにより、障害児等の福祉の向上を図ること。

(2) 重症児を受け入れる訪問看護師研修

ア 対象者

- (ア) 重症児の受入れを検討している、又は受入経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等
- (イ) 在宅療養の障害児に関わる、又は関わる予定のある相談支援事業所等の職員等

イ 講義内容

- ・重症心身障害児の身体的特徴や介助方法について
- ・医療的ケアの必要な重症児者の在宅生活に必要な支援 等

ウ 受講者数 56名

エ 委託先

社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

(3) 超重症児を受け入れる訪問看護師研修

ア 対象者

超重症児の受入れを検討している、又は受入経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等

イ 研修内容

[講義]

- ・人工呼吸器装着児や医療的依存度の高い超重症児の定義や身体・発達の特徴
- ・超重症児の看護のポイント 等

[演習]

- ・超重症児の看護手技の実施研修
- ・超重症児の緊急、異常時の対応 等

ウ 受講者数 47名

エ 委託先

千葉県こども病院

2 新生児科等からの在宅移行支援研修

(1) 目的

NICU 等における小児の在宅移行に必要なとなる専門的知識取得、スキルアップ等。

(2) 対象者

- ア NICU 管理者から推薦を受けた NICU 経験 5 年以上の看護師
- イ 各研修項目に関心がある NICU 看護師（経験年数を問わず）
- ウ 小児科病棟にて退院支援に関わっている看護師等
- エ 訪問看護師

(3) 講義内容

- ・在宅移行期からの育ちを支援する他職種連携の必要性と意義
- ・新生児科から訪問看護に必要な知識
- ・在宅での子どもの健康管理の要点、方策やリスクマネジメントについて 等

(4) 研修修了者数 16 名

(5) 委託先

公益社団法人 千葉県看護協会

3 医療的ケア児等コーディネーター養成研修

(1) 目的

医療的ケア児等に対する地域の障害児通所支援事業所、保育所、放課後児童クラブ及び学校等における医療的ケア児等への支援を総合調整する者（コーディネーター）を養成すること。

(2) 対象者

千葉県内の相談支援専門員、保健師、訪問看護師等、今後地域においてコーディネーターの役割を担う予定のある者 等

(3) 研修内容

[講義]

- ・医療的ケア児及び重症心身障害児者のライフステージに応じた支援の実態
- ・本人や家族の思いと意思決定、災害時の状況と必要な支援 等

[演習]

- ・重症児者支援における地域の課題や災害に備えて必要な支援体制整備
- ・医療的ケアの必要な重症者と家族への相談支援 等

(4) 受講者数 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 講義 52 名 演習 62 名

(5) 委託先

社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

※令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、全ての事業の実施を見送っております。